

20191112 第122回 運輸の日

場 所：東神トラックステーション

配布数：39部

行動者：今井 勇（ヤマト運輸 厚木）

萩原 弘達（日新）

岸 昇（セイノースーパーエクスプレス）

浅野 隆司（ヤマト 厚木）



本日で5日目の東神トラックステーションでの行動です。相変わらず待機のトラックが多いですね。日本の実態経済はやはり良くないのか、生産・消費ともに少ないようですね。さて今日もしつこく運転手へ荒天時の『計画運休』についてのアンケートをしました。

問題は色々あります

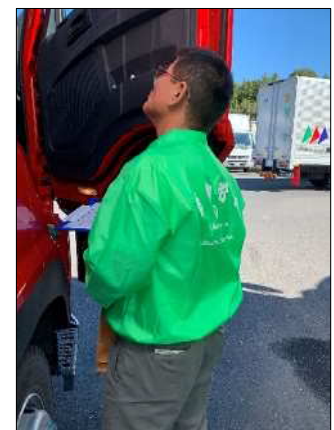
- ・産業一体として取り組めない事実
- ・実際に運転している大変さが何も分かっていない事務職および顧客
- ・稼働給に依存した給与体系

ドライバーの声をまず届けなくてはいけないのは、一般市民なのではと感じました。

運輸労連神奈川としてもドライバーの声を広く伝え、市民の方々の理解を得られるよう取り組んでまいります。

記》名張

岸：今日の組織拡大行動は、晴天の中、11月とは思えない気温で、暑さを感じました。アンケートは、自然災害、台風等に於いて、鉄道会社等が行っている計画運休を、運輸業界も行うことに、賛否をとることでした。ほとんどのドライバーは、寝ていましたが、アンケートに答えてくれたドライバーは、自分自身の身を守るために、全員が賛成でした。



阪本：本日の組織拡大統一行動は、東神トラックステーションで晴天のもと行われた。

配布にはかなり苦戦を強いられましたが、対応して頂いた皆様には快くアンケートにも答えて頂きました。ただ残念なことに、多量のゴミが植込みに投棄されているのが目についた。